



山連城頸

編集・発行：上越市立板倉中学校
Tel: 0255-78-2013 Fax: 0255-78-2137
mail:

「はやぶさ」

校長 藤田 賢一郎

6月4日実施(昨年度までは9月)の体育祭など、前例にとらわれない活動にチャレンジしている生徒に向けて、5月の全校朝会で次のように語りかけました。

みなさんは、世界の歴史に残る偉業を成し遂げた日本の惑星探査機「はやぶさ2」のニュースを覚えていますか。令和2年12月、「はやぶさ2」が打ち上げから6年もかけて、地球に接近する軌道を持つ小惑星「リュウグウ」の大気や小石、砂粒など、目標の0.1gを大きく上回る5.4gもカプセルに詰めて持ち帰ったのです。このカプセルは小惑星「リュウグウ」にちなんで、「竜宮の玉手箱」と命名され、その中のサンプルを世界中の科学者が分析しています。近い将来、太陽系や私たち地球に生命が誕生した秘密が解き明かされるかもしれません。「はやぶさ2」は、「竜宮の玉手箱」を地球に向かって放出した後、高速回転する微小惑星「1998KY26」に向かって、今この瞬間も宇宙を航行し続けています。この新しいミッションには10年かかるそうです。

さて、みなさん、こんなに凄い「はやぶさ2」ですが、2というからには、初代「はやぶさ」が存在しました。初代「はやぶさ」は、平成15年5月に、小惑星「イトカワ」に向かって旅立ちました。平成19年に「イトカワ」のサンプルを地球に持ち帰るといって世界初のミッションでした。平成19年は3年生の多くのみなさんが生まれた年ですね。

しかし、想像を絶するほど過酷な宇宙の旅です。「はやぶさ」は数々のトラブルに見舞われました。60億kmの旅を終えて地球に帰還し、大気圏に再突入したのは、予定より3年遅れの平成22年でした。その3年間、チームはやぶさのメンバーは最期まであきらめず、全力を尽くして、初代「はやぶさ」を地球に戻したのです。

初代「はやぶさ」のミッションがどれだけ過酷なものであったかを実感するために、ある科学者が、ミッション成功の可能性を計算しました。2・3年生は、昨年度「技術・家庭科」の時間に、ドローンを発進、飛行させた後に、机の上に着陸させるプログラムを作りましたね。それに例えると、ドローンを日本から発進させて、地球の裏側ブラジルに設定した直径6cmのゴール地点に着陸させる

のと同じくらいの可能性だそうです。もちろん、ドローンは途中で台風に合うかもしれませんが、落雷を受けたり、渡り鳥に攻撃されたりするかもしれません。プロペラやバッテリーが故障するかもしれません。もう、成功することを思い描けないほどの困難がありそうです。

話を初代「はやぶさ」の地球帰還に戻します。7年前の計画では、パラシュートで地上に着陸することにしていましたが、それまでの過酷な旅でエンジンやコンピュータに数えきれないほどのダメージを負っていたために着陸を諦めて、「イトカワ」の岩石質微粒子などのサンプル1500粒の詰まったカプセルだけを放出させることにせざるを得ませんでした。カプセル放出後、想像を絶する困難な任務を果たして大気中で燃え尽きていく初代「はやぶさ」のニュース映像を、涙して視る当時の中学生もいました。初代「はやぶさ」とチームが成し遂げた、この世界初の快挙は本や映画にもなり、人々に希望や勇気を与えました。そして、この偉業は、「はやぶさ2」の偉業につながります。「はやぶさ2」の偉業は、初代「はやぶさ」チームが、「はやぶさ」を信頼して最後まであきらめず、希望をもって、困難や失敗を乗り越えてきたそのプロセスが教訓となって成し得たことなのです。

「失敗をカウントするな！成功をカウントしよう！」この言葉は、チームはやぶさのリーダー川口純一郎氏の、初代「はやぶさ」地球帰還までの7年間の希望と絶望の中から生まれた名言です。

先週、板中初となる6月実施の体育祭に向けて結団式が行われました。また、生活委員会では、長年続いた生徒心得の見直しに着手しています。私たちは、新しいこと、経験をしたことのないことに挑むとき、失敗したらどうしようと萎縮したり、消極的な気持ちになったりしがちです。そんなときには、「はやぶさ」の教訓を思い出しましょう。自分や仲間の可能性を信じ、希望をもって、失敗をおそれずに、困難を乗り越えてほしいと願っています。皆さんのチャレンジを応援しています。

私たち教職員も、生徒のよさや可能性に大いに期待しながら、授業改善や新たな教育活動に挑みます。

ご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

《 5月のおもな出来事 》

5月6日(金) 体育祭結団式

体育祭の成功に向けて、全員の意識を高める場として。また、各軍のリーダーによる軍の活動方針を周知するために体育祭結団式が行われました。また、副実行委員長のKNさんが体育祭に向けての思いを次のように述べてくれました。

体育祭 ～絶賛 準備中～ 体育祭副実行委員長 KN

今年度の体育祭は、6月開催となり、昨年度から様々なことが変わります。準備期間が短い中、応援リーダーを中心に振り付けや小道具、パネルの完成に全力で取り組んでいます。

『新時代～最紅な青空の下、限界を超えて駆け抜けろ！～』

を、合言葉にして、全校生徒一人一人の思いを繋ぎ、体育祭が終わったときに、

「今までで一番楽しい体育祭だった」

と思えるよう、副実行委員長として頑張っていきます。コロナ禍により地域の方々に会場へお越しただけなのが残念ですが、私たちは精いっぱい頑張ります。最高な体育祭になりますように。

紅 軍



青 軍



5月12日(木) 「生徒心得」見直し活動

板倉中学校では、以前から生徒心得の見直しに、生徒会総務委員会や生活委員会で取りかかっているところです。その第1弾として、生徒会会長・副会長、生活委員会の委員長・副委員長、校長、生徒指導主事の話し合いが行われました。見直しの対象となる主な内容は、

(1) 半袖体操着をハーフパンツの外側に出してもよいこととする。ただし、中に入れる指示がある場合はそれに従う。

(2) 靴下の色を黒・紺も可とする。

靴下の色は、白・黒・紺色とする。無地(ワンポイント可)とする。

長さは膝下(膝が隠れるような長いものは不可)とする。

今後の見直しについて、AH 生活委員長は、

「今後服装が乱れたりしないよう、全校でしっかり取り組んでいきたいと思います。また、体育祭が終わってから、

生活委員会でキャンペーンを行うなどしたいと考えています」

と、しっかりした口調で話してくれました。今後、活発に議論が展開されることを期待しています。



5月19日(木) 1年生 学習用端末本格的な使用開始!

1年生が学校での様々な活動で、有効に学習用端末を使用するために「学習用端末開き」を行いました。まず初めに、基本設定を行い、その後情報モラルについて学習しました。学習用端末を積極的に使用し、日常的に活用する文房具になるようよう期待しています。

1組のSHさんは、「便利なアプリを見つけ、学習のために使いたいと思いました。特に絵を描くアプリを早く使いたいと思いました。」と期待を込めた感想を述べてくれました。



1年1組の学習の様子



1年2組の学習の様子

板倉中学校の部活動設置見直し、再編の検討について

令和5年度から

休日の部活動を、段階的に地域に移行します

令和2年9月に文部科学省等によって示された方針に沿って、各市町村で「地域部活動」の実施に向けた準備を進めています

なぜ移行するのか?

- ・「勝ちたい」「楽しみたい」といった、生徒の多様なニーズに応じた活動の選択肢を作るため
- ・教員の働き方改革を推進するため

「段階的に」とは?

- ・準備ができた地域、種目等から順次スタートします
- ・令和4年度は、試行も含め、県内10市町村、のべ36種目で「地域部活動」が実施される予定です

地域移行後の活動機会は?

- ①民間のクラブチームやフィットネスクラブ等
- ②地域のクラブチーム、市町村協会主催の練習会、町道場等
- ③県の競技団体等が主催する練習会等
- ④教育委員会が運営方針の決定等に關与する「地域部活動」

- ・自分の目的に合った活動を選択できるようになります
- ・複数の活動を兼ねることができず
- ・平日の部活動と異なる種目への参加もできます
- ・いずれの活動にも参加しないこともできます

「地域部活動」とは?

- ・「運動したい生徒全てが参加可能な、競技力向上のみを目的としない運動機会の確保」を目的に、総合型地域スポーツクラブや競技団体等を運営主体として実施する活動
- ・運営方法等については、市町村教育委員会が中心となり、運営主体、学校、保護者等による検討会議で決定します

地域移行の課題は?

- ・地域移行後は、学校の活動ではなくなるため、指導者の報酬や保険料等について、基本的に受益者負担となります
- ⇒負担に見合う活動の提供を目指します
- ⇒国は財政支援について検討するとしています
- ・現在、中体連主催大会は、学校単位でしか出場できないことになっています
- ⇒中体連は参加規定の見直し等の検討を始めています

今後、各市町村単位で、部活動の地域移行に向けた各種情報が発信される予定になっています

※文化部についても、地域移行に向けた準備を進めています

問い合わせ先 新潟県教育庁 課外体育課 学校体育指導係 TEL:025-290-5624
文化行政課 文化係 TEL:025-280-5619

昨年度に引き続き、部活動の設置見直し、再編を今年度も引き続き検討していきます。文部科学省によって示された方針に沿って、昨年度県が保護者や地域向けに作った資料を左に掲載しました。

この中で、部活動は大変意義深い活動である一方、教師の長時間勤務の要因になったり、指導経験のない教師にとって大きな負担となったりしていること、生徒にとって望ましい指導を受けられない場合がある等の課題があることから、持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要であるとしています。

その状況を踏まえ、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築する一方で、部活動の指導を希望する教師は引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築することで、生徒の活動機会を確保し、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備することとしています。この一連の改革では、生徒の活動をより良いものにすることを目指しています。

今年度の板倉中学校の部活動の加入状況は、次のページの表のとおりです。

令和4年度 部活動所属 人数									
	1年		2年		3年		合計		総計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
陸上競技	3	3	6	3	6	6	15	12	27
野球	0	0	7	0	0	1	7	1	8
バレーボール	0	4	0	4	0	9	0	17	17
卓球	4	9	4	4	11	4	19	17	36
バドミントン	5	6	5	4	10	1	20	11	31
吹奏楽	0	4	1	4	3	5	4	13	17
生活文化	2	0	4	8	0	0	6	8	14
合計	14	26	27	27	30	26	71	79	150
無所属	6	1	2	3	5	7	13	11	174

※ 今年度の野球部は、板倉中・清里中・中郷中との合同チームを編制しています。

《 栄光の記録 》

第 51 回柏崎陸上競技選手権大会

令和 4 年 4 月 16 日

男子 110mH	2 位	3 年	NY	男子走高跳	2 位	3 年	SR
男子 110mH	5 位	2 年	OR	女子 100mH	5 位	2 年	KY
男子 3000m	6 位	3 年	YK	男子 1500m	8 位	3 年	YK
女子 4×100m R		5 位	K (2年)・H (3年)・K (3年)・I (2年)				
男子 4×100m R		3 位	M (3年)・F (3年)・N (3年)・S (3年)				

第 89 回上越陸上競技選手権大会

令和 4 年 4 月 24 日

男子 110mH	1 位	3 年	NY	女子 100mH	2 位	2 年	KY
女子 200m	4 位	3 年	HI	男子 110mH	4 位	2 年	OR
女子 100mH	5 位	3 年	KN	女子走幅跳	7 位	3 年	HR
男子 3000m	8 位	3 年	YK				
男子 4×100m R		5 位	M (3年)・Y (2年)・N (3年)・H (3年)				
女子 4×100m R		5 位	K (2年)・F (3年)・S (3年)・I (2年)				

《 6 月のおもな予定 》

3日	(金)	体育祭予行演習・準備	17日	(金)	漢字検定
4日	(土)	体育祭(保護者のみ参観)	20日	(月)	地区野球・バレーボール大会
6日	(月)	体育祭 代休	21日	(火)	民生委員・児童委員協議会との懇談会
7日	(火)	月曜授業 部活動なし	22日	(水)	3年生 高校説明会
8日	(水)	英語 学力向上支援訪問	23日	(木)	中井 SC 訪問日
9日	(木)	中井 SC 訪問日	24日	(金)	地区野球・バレー・卓球大会 給食なし
10日	(金)	テスト範囲表配布日	25日	(土)	地区野球・バレー・卓球・バドミントン大会
13日	(月)	オープンスクール 壮行式	29日	(水)	3年生 高校説明会
14日	(火)	地区陸上大会	30日	(木)	オープンスクール 壮行式
15日	(水)	地区陸上・卓球大会 給食なし			

※ 予定は変更することがあります。あらかじめご了承ください。

【 お知らせ 】 ～ 体育祭参観の制限について ～

今年度の体育祭も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施種目や運営方法について対策と工夫を凝らした取組にしようと準備を進めております。しかし、感染拡大が心配されている現状を踏まえ、当日の会場での参観を、生徒の各ご家庭 2 名以内とさせていただきます。来賓の方々や地域の皆様につきましては、当日直接応援していただきたいところではありますが、何卒ご理解とご協力の程、宜しく願い申し上げます